

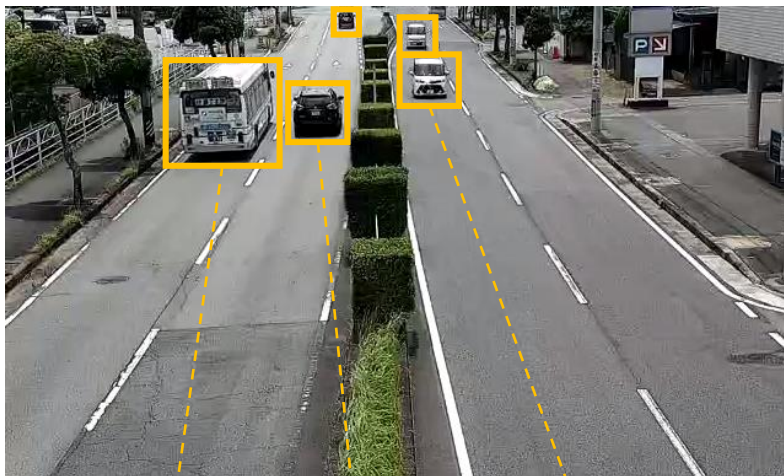
1. AIによる交通量計測の仕組み

画像認識型交通量観測装置の処理フロー例（①～④）

①車両検出

動画フレームから**車両を検出** 

DL処理



②車種識別

車両の**車種を判別** 

DL処理




判別 **"大型車"**

"小型車"

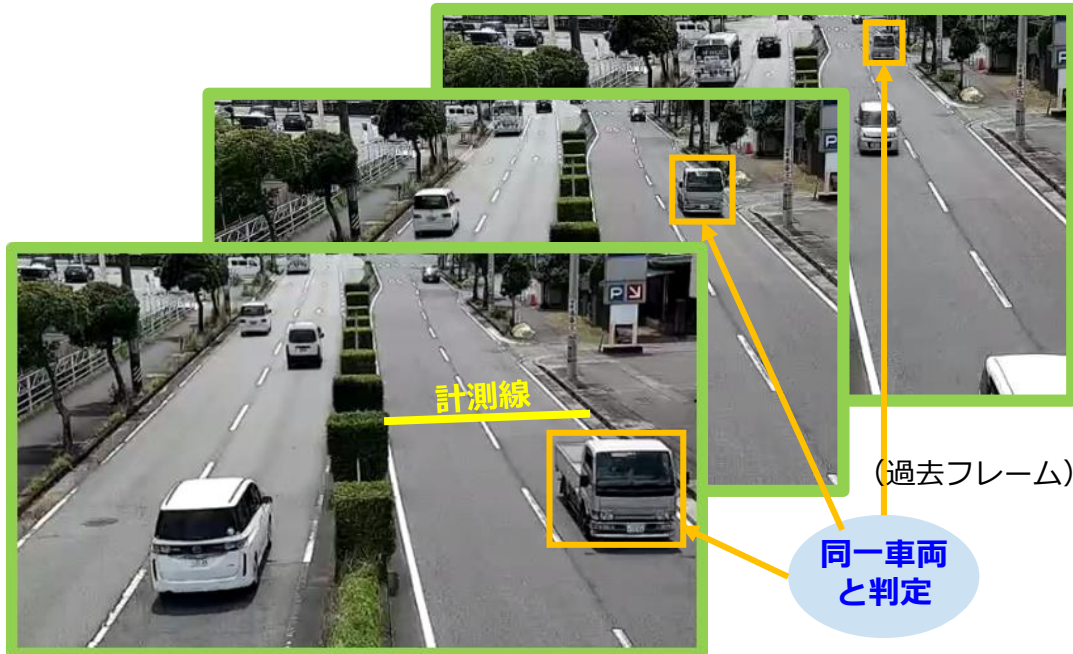
"小型車"

※トラックとバスに判別可能

③車両追跡

過去フレームと同一車両判定を行い**動線を追跡** 

DL処理



(現在フレーム)

(過去フレーム)

④計測線通過判定

動線追跡している車両の**計測線通過を認識**

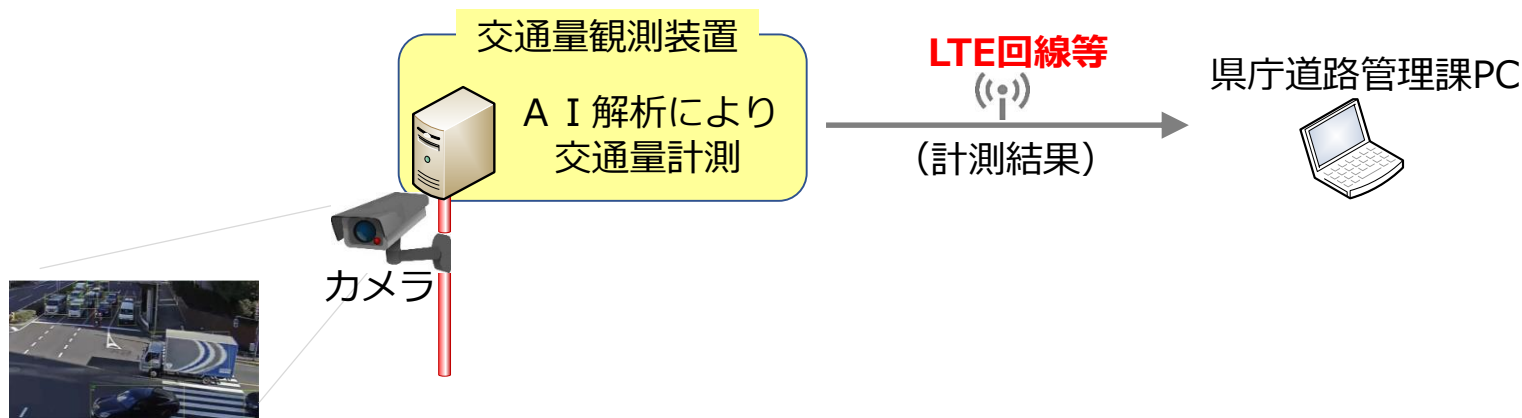
計測結果；「大型車 1台」

【DL処理】

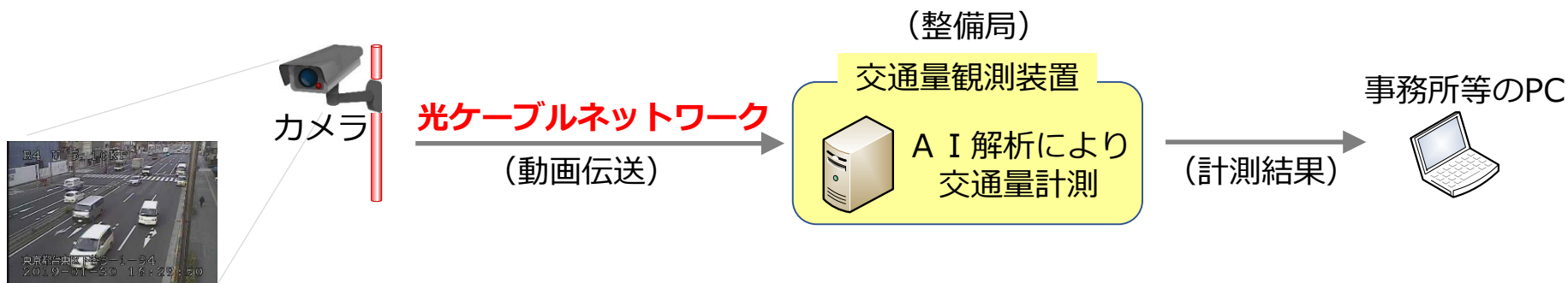
DeepLearningにより、車両や車種等を予め学習させたモデルを使用して、入力画像から車両や車種等を推論する処理。

2. 計測データの流れ

三重県【エッジ型】（A I をカメラと同じ位置に設置）

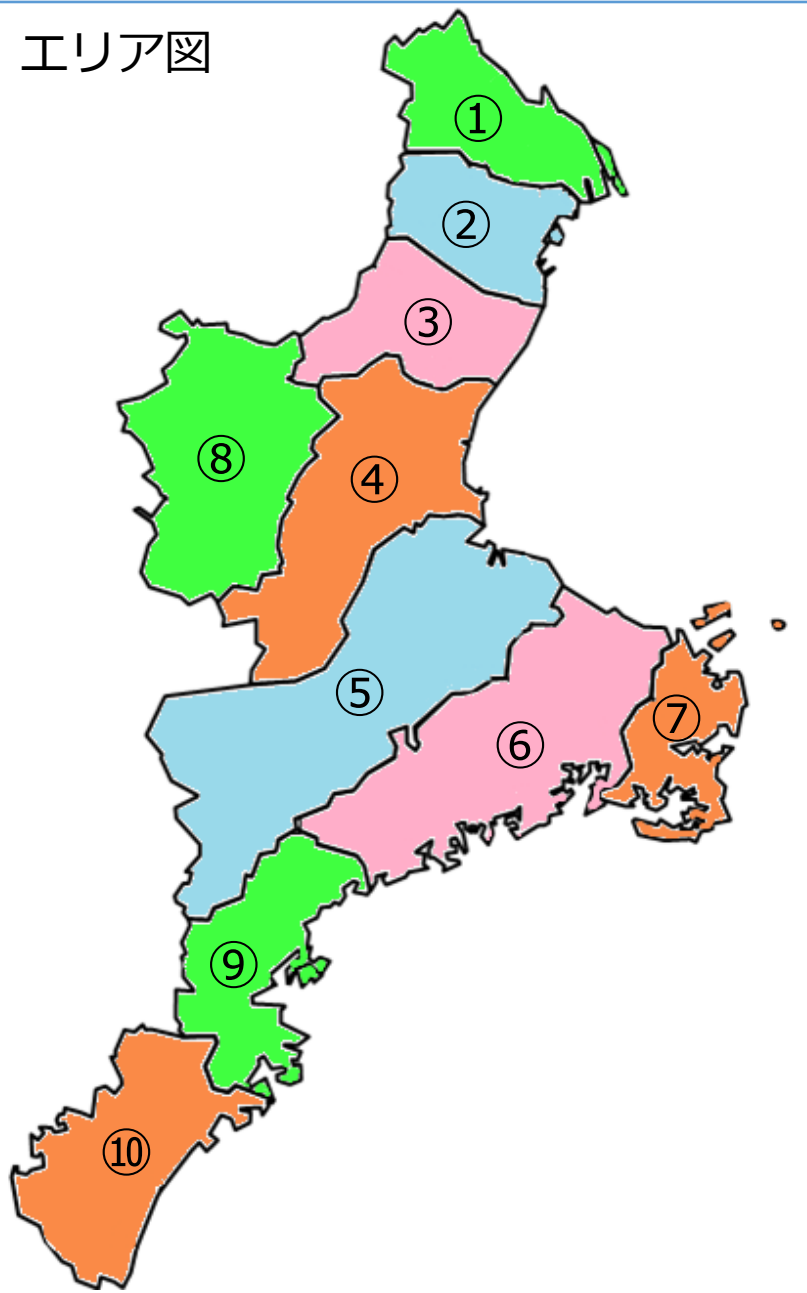


(参考) 直轄国道【サーバ型】（A I をカメラと別の位置（整備局）に設置）



3. 情報提供のイメージ

エリア図



対前週比 (全車)

エリア	設置箇所特性	平日 平均	土日祝 平均
① 桑 名	観光地周辺	+ 5%	+ 10%
② 四日市	観光地周辺	+ 10%	- 8%
③ 鈴 鹿	観光地周辺	- 6%	+ 4%
④ 津	IC付近 (緊急輸送道路)	+ 15%	+ 12%
⑤ 松 阪	IC付近 (緊急輸送道路)	+ 3%	- 2%
⑥ 伊 勢	観光地周辺	- 5%	- 10%
⑦ 志 摩	観光地周辺	+ 8%	+ 10%
⑧ 伊 賀	観光地周辺	+ 12%	+ 15%
⑨ 尾 鷲	IC付近 (緊急輸送道路)	- 2%	+ 3%
⑩ 熊 野	広域防災拠点付近	± 0%	- 5%

※データを蓄積し「対前月比」「対前年比」に加え、「大型車・小型車別」などの情報に拡充予定

(参考) カメラ設置状況



カメラ



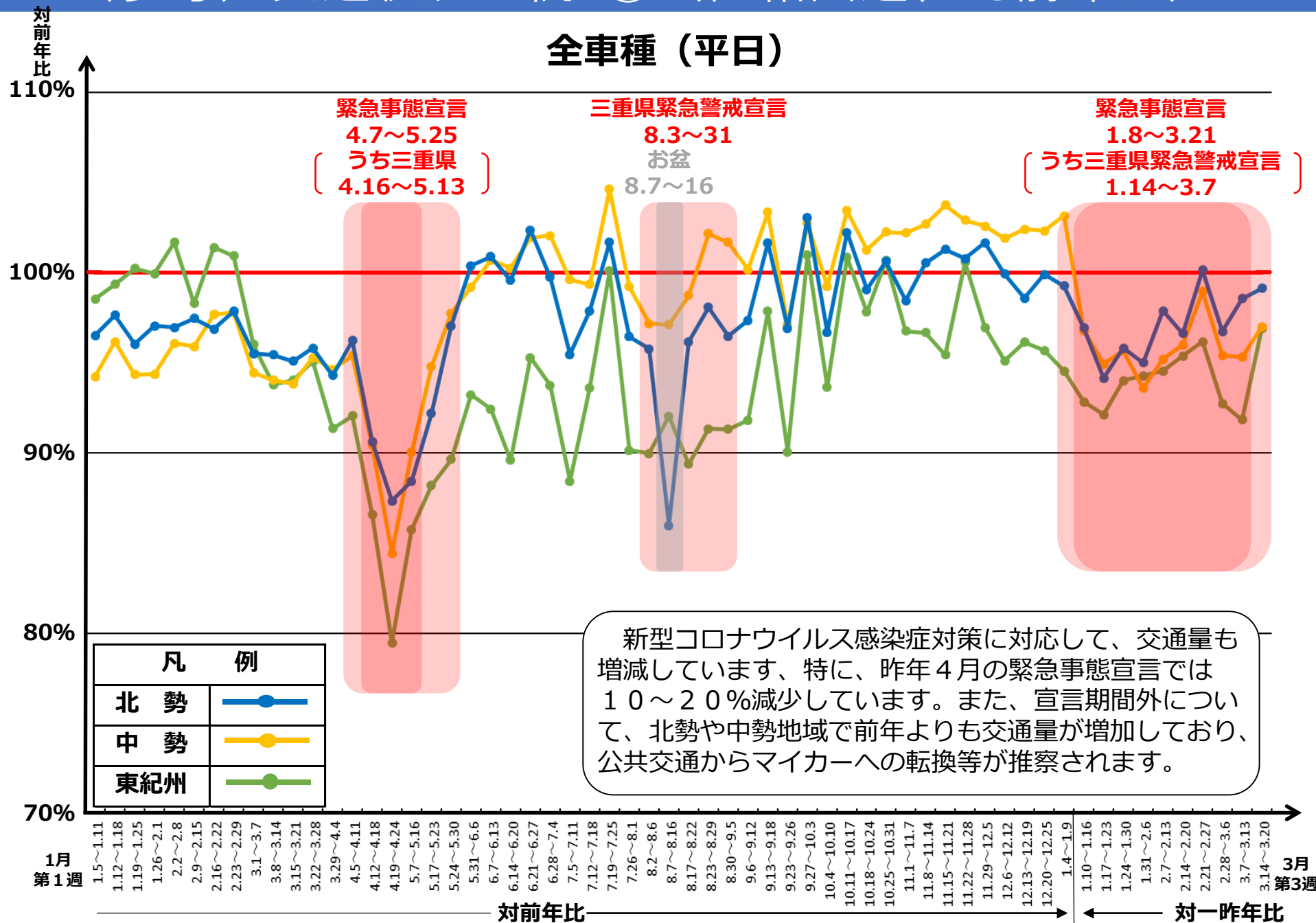
画像認識型交通量観測装置



本体

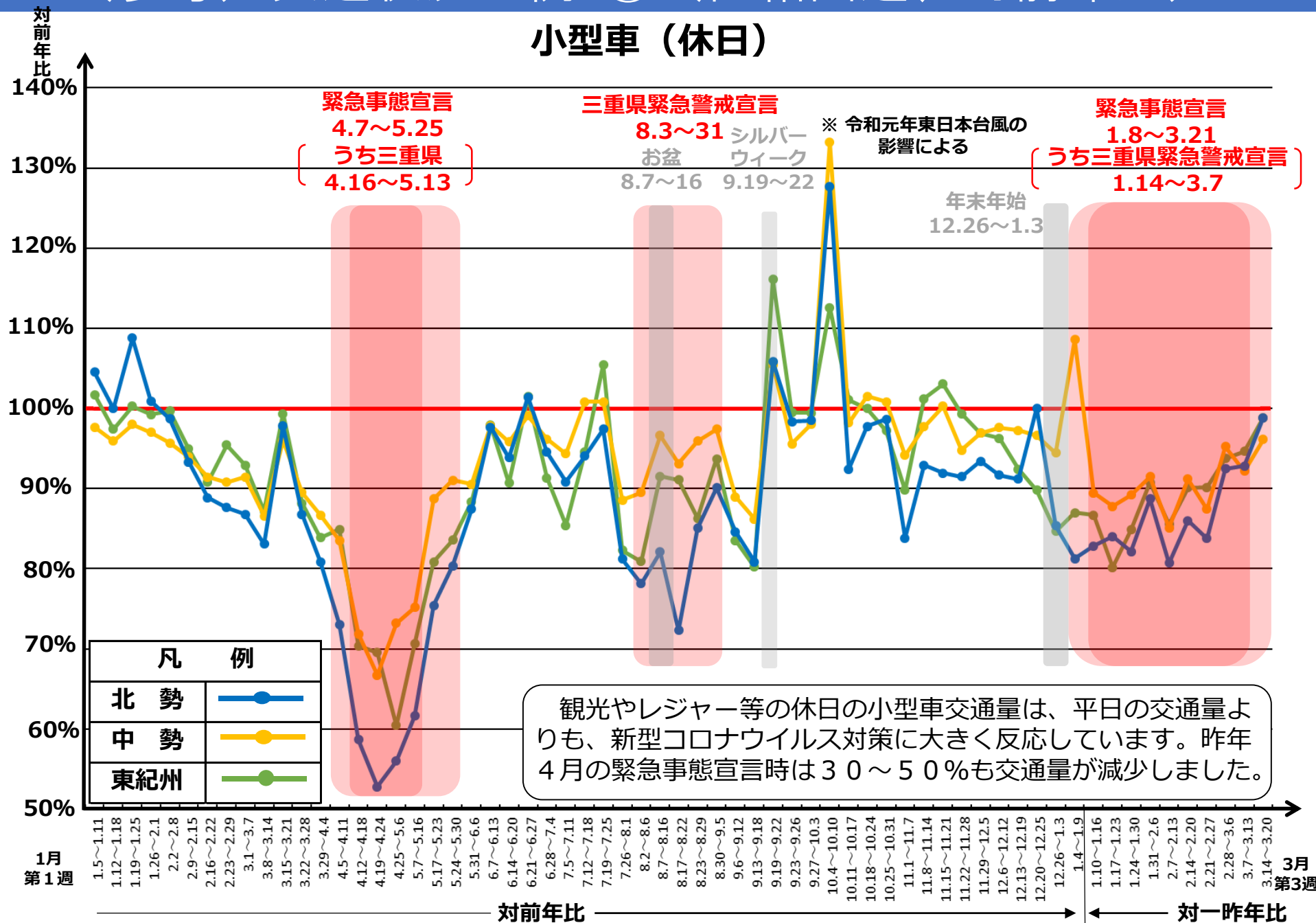
(参考) 交通状況の例 ① (直轄国道、対前年比)

全車種 (平日)



(参考) 交通状況の例 ② (直轄国道、対前年比)

小型車 (休日)



(参考) 交通状況の例 ③ (直轄国道、対前年比)

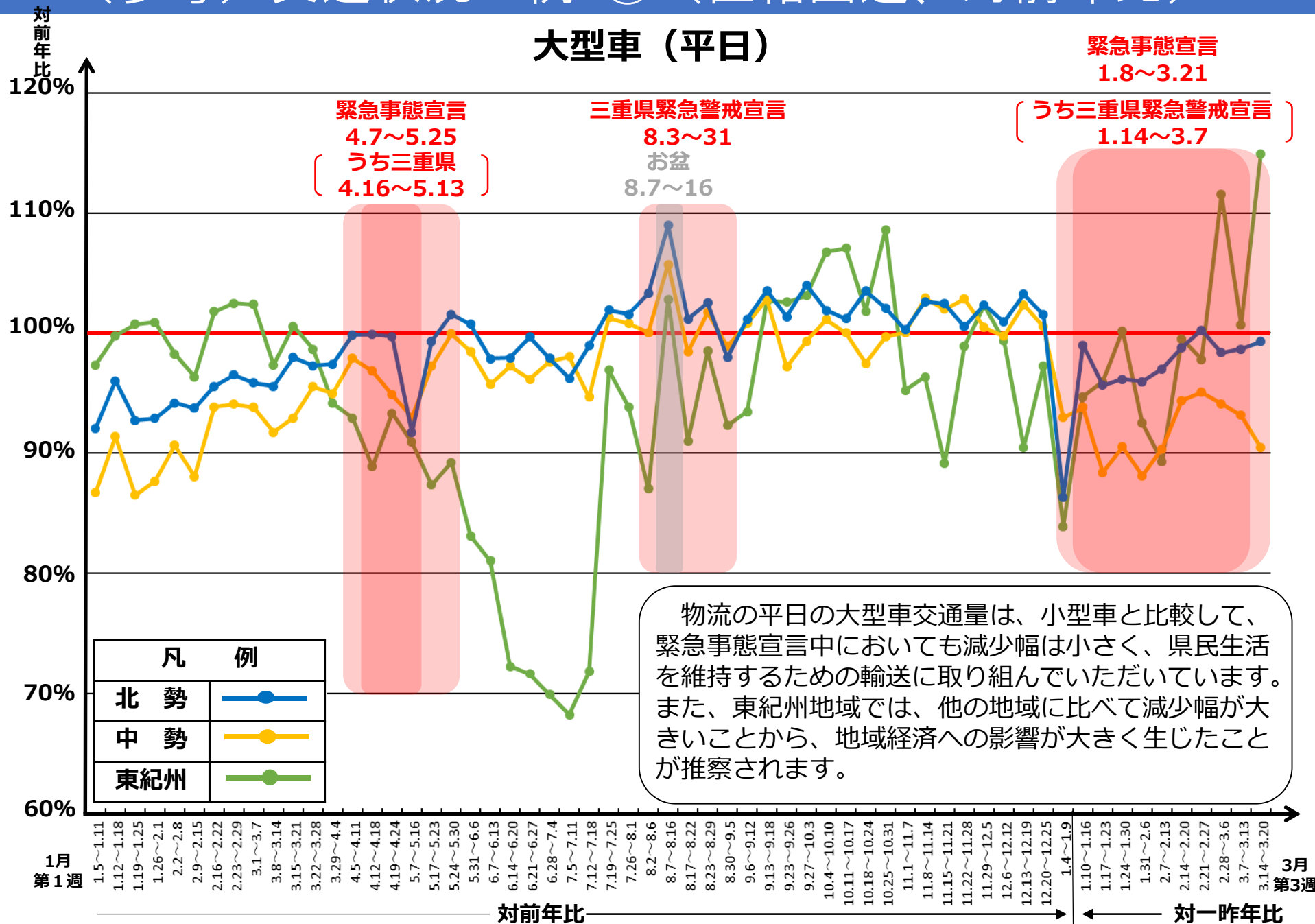
大型車 (平日)

緊急事態宣言
1.8~3.21

緊急事態宣言
4.7~5.25
〔うち三重県〕
4.16~5.13

三重県緊急警戒宣言
8.3~31
お盆
8.7~16

〔うち三重県緊急警戒宣言〕
1.14~3.7



物流の平日の大型車交通量は、小型車と比較して、緊急事態宣言中においても減少幅は小さく、県民生活を維持するための輸送に取り組んでいただいています。また、東紀州地域では、他の地域に比べて減少幅が大きいことから、地域経済への影響が大きく生じたことが推察されます。